

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】  
 (第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月19日(第3日)

会場: プール

ゲーム

18

帽子の色	白	準決勝 3 - 1 2 - 0 2 - 2 3 - 1 EX. - - P.T. -	青	帽子の色
	山形県立山形工業高等学校			三重県立四日市中央工業高等学校
	10			4
天候:	晴れ			審判1: 井上嘉隆 審判2: 槇橋邦広
戦評				

城北、戦秀明英光、鳥取中央育英と強豪を激戦の末破り、勢いに乗る山形工業と、初戦から全て圧倒的なスピードで勝ち上がってきた四日市中央工業との対戦。DFから早く攻撃のリズムをつくって主導権を握りたいところ。

1P 四日市中央工業はGKを中心にゾーンディフェンス。山形工業はDFの一瞬の隙を突き、フローターへパス。5:56、四日市中央工業の退水を誘発する。ゴール前の混戦から5:45にはP.Tを獲得、白 近野が決め山形が先行する。4:57にはカウンターから白 志田が得点。四日市のプレスが甘いポイントからジャストパスが入る。山形工業のフローターが強く、四日市中央工業は徹底してゴール前を塞ぎにかかるが、速いパス回しからゴール前にボールを入れられる苦しい展開。四日市中央工業は4:33、大野がフローターシュートを決め追い上げるが、4:09、白 に痛恨のP.F.。このパワープレーに3:56、白 齋藤が右サイドから得点した。四日市中央工業は、 が立て続けにカウンターからシュートを放つがGKの攻守に阻まれ得点できず。

2P 四日市中央工業はカウンター攻撃、山形工業もカットインで攻撃するが、ともに得点できずターンオーバーを繰り返す。両チームともGKが活躍。やっと2:24に白 近野がフローターシュートを決め4-1。追う四日市中央工業は必死にカウンター攻撃を仕掛け、 - とチャンスをつくるがこれもGKの攻守に。逆に1:06、山形工業はカウンターから - 近野にパスが渡り得点。山形工業のDFの強さが目立ったQであった。

3P 四日市中央工業の気迫のこもった攻撃もオフENSIPでチャンスを潰す。山形工業は6:02、高橋がカウンターから得点。5点差。四日市中央工業は5:38にカットインから 柿市が得点。その後も 柿市を中心に怒濤の攻撃を仕掛けるがなかなか追加点が奪えない。1:48、田中がGKの不意を突くミドルシュートで加点したが、1:16、またも白 近野のフローティングに失点し、差をつめられずに終了。

4P 先取点は山形工業。5:39、白 志田がフローターシュートを決める。さらに4:51には白 林がカウンターから得点した。四日市中央工業は必死にカウンター攻撃を仕掛けるが山形DFが確実に潰していく。苦しい展開が続く四日市中央工業は2:53、柿市が相手カウンターのボールを潜ってカット、自らドリブルで持ち込み得点。その後も果敢に攻撃を仕掛けるが、失敗。逆に0:29、カウンター攻撃を受け、失点。10-4で終了した。

敗れはしたが四日市中央工業のカウンター攻撃は力強く、今後の成長が期待される。また、3度目の決勝進出を果たした山形工業には初優勝を目指して最高のプレーを期待する。

記録者

渡辺 俊明